

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

事業所名	発達支援室クオール伊勢		
保護者評価実施期間	2024年10月12日		~ 2024年10月31日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	77名	(回答者数) 66名
従業者評価実施期間	2024年10月12日		~ 2024年10月31日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
事業者向け自己評価表作成日	2024年11月13日		

## 分析結果

	事業所の強み（ ）だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に合わせた療育の提供ができること及び 近い年齢のグループ療育が提供ができています。	子どもをよく観察しカンファレンスを重ね、一人ひとりに 何が必要かを検討し実施している。	保護者の方や関係機関との連携を深め、子どもの成長を見守り 療育を提供していく。
2	常勤児童指導員及び保育士を各クラス3名ずつ配置し、 必要な場合は、個別対応にも応じることができています。	ほとんどが常勤職員のため、共通認識ができやすく、責任の 所在もはっきりするので、療育の質を高く保てる。	学習会や研修を重ねて、子どもの発達状況に応じた療育を提 供していきたい。
3	グループの中に小児科医院があるので、医療機関との連携が 取りやすい。また、必要な場合は知能検査及び発達検査の実 施ができる。	保護者との相談の中で医療機関への相談が望ましい場合は受 診の紹介をして不安を解消できるようにしている。	保護者の方との面談を実施する中で、どのようなことに対し て不安やご心配になっておられるのかを理解できるように努 めていく。
4	子育てに対して意識の高い保護者が多くおられる。	子どもに対して共通認識が持てるように、面談を大切に している。	保護者の方をご希望されることを実施していけるよう に努力していく。
	事業所の弱み（ ）だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの送迎に関すること。	保護者の方に送迎して頂く場合に、駐車場が狭く、ご迷惑を おかけする場合がある。	近隣の駐車場を空いている時には貸してもらえるようにお願 いしている。また、送迎の時間の時間差ができるようにご協 力して頂いている。
2	戸外での活動ができにくいこと。	近くに子どもたちが利用できる公園等がないため、戸外での 活動に制限がある。	職員の人数が確保できる時には、歩きや車で、公園等に出か けている。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	働いておられる方も多く、交流の場の設定が難しい。	ご希望される方もおられるので、交流会を設定していく。